

平成31年度

# 高階西小学校だより



学校教育目標 「力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ」 令和元年5月7日 5月号  
目指す学校像 ～保護者・地域から信頼される 明るく笑顔あふれる学校～



気持ちのよいあいさつがあふれる学校・地域に

校長 鈴木 友子

桜吹雪で始まった新学期もあっという間に1か月が過ぎ、あやめやツツジの美しい季節となりました。また、新元号「令和」となり、より新鮮な気持ちにもなります。

先日は年度当初の保護者会にご出席いただきありがとうございます。今後のご都合をつけてご出席いただき、お子さんが頑張る姿を見て褒めてあげてください。きっと自信や次への意欲につながると思います。

1年生は、この1か月でだいぶ学校に慣れ、学校探検を楽しんだり、給食を嬉しそうに食べたりしています。2年生以上の児童もそれぞれに新たな決意をもってよいスタートを切ることができました。お陰さまで学校全体が大変落ち着いた雰囲気です。

廊下の掲示物から、一部ご紹介します。

<2年生>鉄棒で空中逆上がりができるようになりたいし、九九もスラスラすらすら言えるようになりたいです。そして、1年生に見本を見せたいです。

<3年生>初めての理科がわくわくドキドキします。英語も楽しみです。リコーダーをふけるようになるとうれしいし、習字や社会科見学も楽しみです。

<5年生>初めての委員会活動で、学校のため、みんなのために一生懸命がんばることが目標です。運動会の組体操では、がんばって練習し素敵な演技をしたいです。



左の看板(「あいさつで いい日・いい友・よい心」)をご存知ですか。

子供たちの元気なあいさつが飛び交う学校は素敵です。校内でも様々な取組をしており、児童のあいさつも良くなっています。

相手が心地よくなるあいさつができる人は、社会に出てから大きなアドバンテージを得ることができます。会社への入社時、初めて人に会った時など、人と人とのコミュニケーションはあいさつから始まります。あ

いさつをする時の声や顔から話しやすそうな人かどうかなどを判断することもあります。また、その後のコミュニケーションに生かすこともできます。

では、どうすれば、きちんとあいさつができる子供を育てることができるのでしょうか。

あいさつの基本は、「笑顔で、はっきりと」することです。たったこれだけのことなのですが、これが結構むずかしくもあります。しかし、誰でも少しの勇気と心がけで、よくできるようになるのもあいさつです。

まずは、私たち大人が見本を見せましょう。周りの大人たちが、みんな気持ちのよいあいさつをしていたら、同じようにやりたくなるのが子供です。

「うちのお母さん、お父さんのように…」「おとなりのお婆さんのように…」と子供が思えるくらい笑顔でのあいさつをお願いします。

そうすれば、さらに素敵なあいさつの輪が広がっていくように思います。